資料５

阿久根中学校の現況等について

阿久根市教育委員会

１　生徒数，学級数（令和５年４月６日現在）

		１年	２年	３年		学級数合計	生徒数小計	生徒数合計
通常学級	生徒数	86	80	73			Ａ　239	267 （Ａ＋Ｂ＋Ｃ）
	学級数	３	２	２		７		
特別支援学級	知的学級 生徒数（別掲）	５	３	７		２	Ｂ　15	
	情緒学級 生徒数（別掲）	８	４	１		２	Ｃ　13	

⑴　学級数，生徒数

ア　通常学級　　７学級、239 人（１学級当たりの生徒数≒　34 人）

イ　特別支援学級　４学級、 28 人（知的学級２学級、情緒学級２学級）

※　阿久根市自立支援教室の設置（令和５年度新設）

○　市内全中学校の生徒の希望者について、通級を可としている。

○　学習指導支援員（教員免許状保有者）を配置し、１人１人の生徒の状況等に応じた、きめ細かな指導・支援を行うことができるようにしている。

⑵　教職員数　25 人（校長１、教頭１、教諭 21、養護教諭１、事務職員１）

教諭（21 人）については、教科担任以外に、指導法改善教員、児童生徒支援加配教員が配置されている。

ア　指導法改善教員（２人）、児童生徒支援加配教員（１人）　→　原則として、学級数の多い中学校に配置される。

○　社会科・英語科については、指導法改善教員として一つの授業に、教科担任と指導法改善教員の２人が入って授業を実施するなど、生徒一人一人に状況等に応じた指導・支援を行っている。

○　児童生徒支援加配教員として、生徒指導において特にいじめや不登校生徒への対応として、きめ細やかな指導が行えるように警察・児童相談所・SSW・SC 等と連携を図りながら指導に当たっている

イ　通級指導教員（１人）

○　令和４年度から、LD・ADHD を対象にした通級教室を開設した。
令和５年度は、阿久根中２名と三笠中１名の３名が通級している。

⑶　研究面

ア　令和４年度から、鹿児島県のコアスクールプロジェクト・エリア推進校として、各実践を基盤とした校内研修及び教育活動を推進している。

（研究内容）同僚性・協働性を生かした教育活動の展開
～　「目指す生徒の姿」を具現化する授業づくり　～

イ　鹿児島県租税教育推進校として、生徒会活動や社会科の授業を中心に、学校全体で租税教育を推進している。

（委嘱期間）令和５年度～令和６年度

⑷　特色ある教育活動

ア　ボランティア活動（あいさつ運動や清掃活動などの主体的な生徒会活動）

イ　体育大会の応援団演舞及び文化祭でのステンドグラス展示

ウ　歌声響く学校（風てらすホールでの校内合唱コンクール）

⑸　その他

ア　部活動

(ｱ) 運動部　男女バスケット・男女テニス・男女陸上・女子バレー・サッカー・剣道・柔道・弓道

※　昨年度、陸上女子 100m×４リレーで全国 3 位、今年度は男子バスケ・女子テニスが出水地区優勝、男子テニス３位で県大会へ出場予定

(ｲ) 文化部　吹奏楽・美術

※　昨年度、吹奏楽コンクール金賞

イ　駐車場

・　教職員、保護者用として約６００㎡程度の砂利の駐車場が、市道を隔てて隣接